

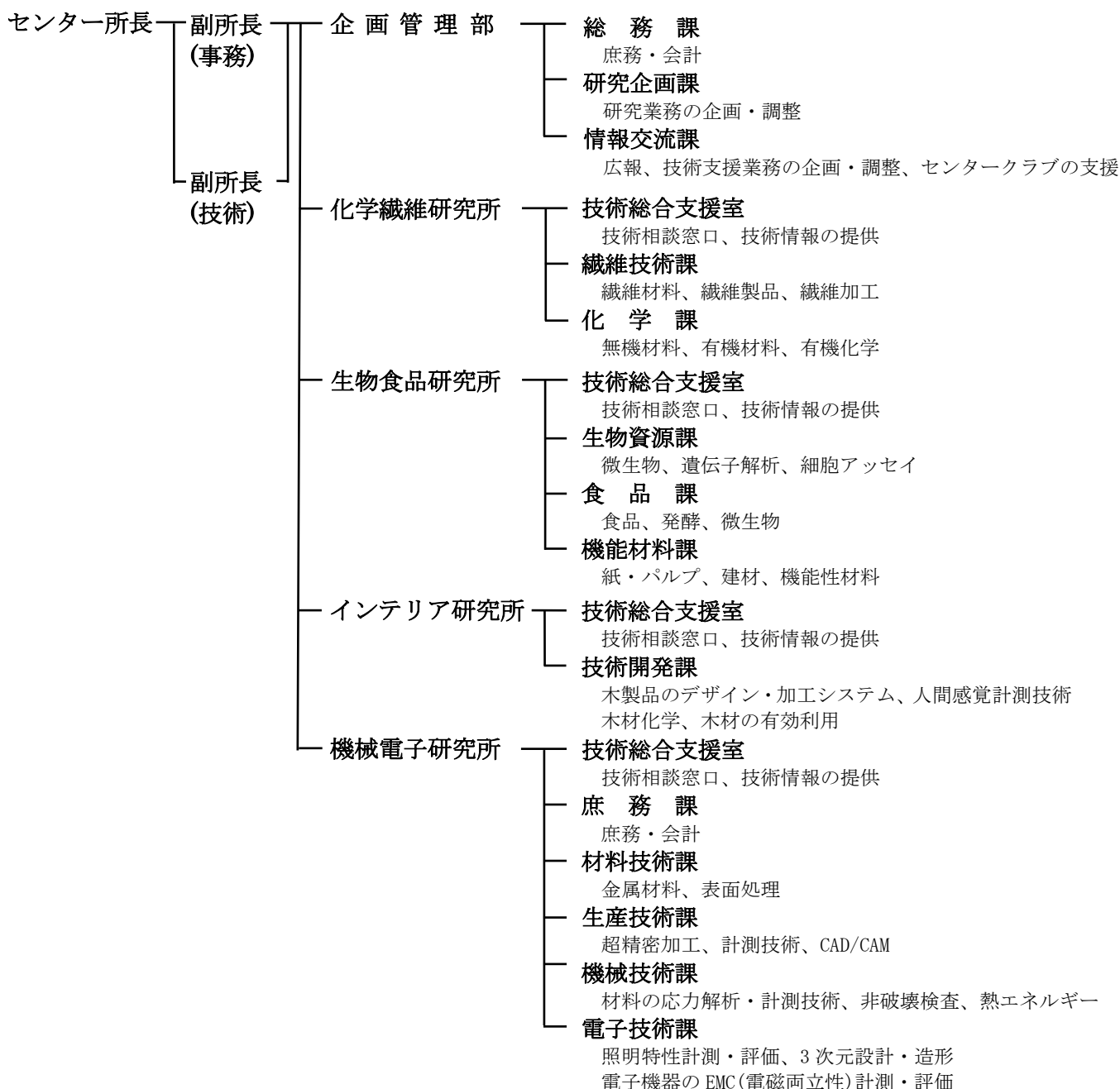
# 第1章

## 概 要

### 1-1 沿革

大正 14年 4月	福岡県福岡工業試験部、久留米工業試験部、福島工業試験部発足
昭和 2年 4月	試験部を試験場に改称
昭和 13年 8月	福岡県金属工業試験場設立(昭和 56年 統合により廃庁)
昭和 23年 8月	久留米工業試験場を国へ移管
昭和 29年 6月	福岡県直方鉱業試験場設立(昭和 56年 統合により廃庁)
昭和 29年 11月	福岡県福岡工業試験場久留米分場設置(昭和 53年 統合により廃庁)
昭和 32年 3月	福岡県福島工業試験場大川分場設置(昭和 37年 大川木工指導所に改称)
昭和 40年 4月	福岡県福島工業試験場大川木工指導所を福岡県大川木工指導所に改称
昭和 53年 5月	福岡工業試験場に久留米分場を統合し、福岡工業試験場を筑紫野市に設置
昭和 56年 6月	金属工業試験場と直方鉱業試験場を統合し、福岡県北九州工業試験場設立
昭和 57年 4月	福岡県大川木工指導所を福岡県大川工業試験場に改称
平成 2年 4月	4試験場を統合し、4研究所体制の福岡県工業技術センター設立、4試験場を改称(化学繊維研究所、材料開発研究所、インテリア研究所、機械電子研究所)
平成 7年 4月	材料開発研究所を廃庁し、福岡県工業技術センター生物食品研究所設立

### 1-2 組織と業務



### 1-3 平成30年度の方針

県内製造業は労働人口の減少や高齢化の進展による市場規模の縮小、人手不足、事業継承にかかる課題など、特に中小企業を取り巻く環境は激しいものになってきています。

このような状況を踏まえ、工業技術センターは、平成28年度に県中小企業振興条例および中小企業振興基本計画に基づき、新たな「業務指針（第3期改訂版）」を策定しました。

関係機関とも密接に連携しながら、高付加価値製品の研究開発から事業化までをきめ細かく総合的に支援する「県内中小企業の発展を支援する実践的研究開発機関」として、平成30年度もこの業務指針に基づき次の業務を継続的に実施、「自立した開発型中小企業の育成」を進めました。

#### ○研究開発

市場や企業のニーズを踏まえ、新技術の開発から企業での事業化までの一連の流れの中における研究開発を、効率的かつ組織的に推進します。

#### ○人材育成

ものづくり現場の基盤技術を担う人材を育成するため、関係支援機関や大学、業界団体等と連携して、セミナーや実習等の企画、カリキュラムや教材作成、研修の実施などの取り組みを継続的かつ主体的に行います。

#### ○技術相談

企業が抱える課題や求めるニーズをしっかりと把握して、研究開発事業や試験分析などへの展開を含めたきめ細やかな支援に努めます。

#### ○情報収集・提供

企業や産業界の状況、ニーズを的確に把握するため、企業現場への訪問を積極的に行い、情報収集を実施します。また、工業技術センターや関係機関が持つ支援機能や研究成果等を積極的に情報発信します。さらに、補助金情報などをタイムリーに提供し、企業の活用を促します。

#### ○技術交流

業界との技術研究会活動を推進し、face to faceの交流促進や情報把握、研究開発プロジェクト、県内の企業人材育成等への展開を図ることで、産業界の発展を支援・促進します。

#### ○試験分析（依頼試験・設備使用）

新たな製品化、事業化につながる依頼試験や設備使用においては、その中から課題を把握し、公設のみならず民間を含めた他試験機関の紹介や連携を進めながら、解決に向けた支援を柔軟かつ積極的に行います。

#### ○コーディネート

工業技術センターや関係機関が持つ支援機能なども活用し、これら機関と連携・協力して、それぞれのステージにあった総合的支援を行います。

## 1-4 職員構成

所属 区分	企画管理部	化学繊維 研究所	生物食品 研究所	インテリア 研究所	機械電子 研究所	合計(人)
事務職員	5	0	3	1	4	13
技術職員	10	16	20	10	28	84
労務職員	1	1	2	1	5	10
合計(人)	16	17	25	12	37	107

所長、副所長は企画管理部に含む。

## 1-5 土地及び建物

所属 項目	企画管理部 化学繊維研究所	生物食品 研究所	インテリア 研究所	機械電子 研究所	合計(m <sup>2</sup> )
土地(m <sup>2</sup> )	12,687.57	12,698.10	6,016.12	9,104.00	40,505.79
建物(m <sup>2</sup> )	5,517.74	5,729.31	2,342.00	6,456.59	20,045.64

## 1-6 支出決算額

所属 科目	企画管理部 化学繊維研究所	生物食品 研究所	インテリア 研究所	機械電子 研究所	合計(円)	
人件費	324,874,665	212,672,234	108,308,333	323,485,738	969,340,970	
研 究 所 費	管理費	16,341,171	36,981,771	8,181,659	40,573,577	102,078,178
	研究費	39,070,910	27,142,889	129,355,605	41,432,802	237,002,206
	依頼業務費	1,988,045	453,302	829,022	2,447,207	5,717,576
	備品費	6,094,801	1,224,115	43,723,476	108,660,819	159,703,211
	小計	63,494,927	65,802,077	182,089,762	193,114,405	504,501,171
合計	388,369,592	278,474,311	290,398,095	516,600,143	1,473,842,141	

## 1-7 工業所有権

## 1-7-1 平成30年度に登録された特許（7件）

発明の名称	特許番号	登録日	備考
ヒトキマーゼ阻害剤および機能性食品、並びにヒトキマーゼの活性を阻害する方法	特許第 6364362 号	H30.07.06	共同出願
アルミニウム基導電材料並びにそれを用いた電線及びケーブル(イギリス)	第 2754725 号	H30.12.12	共同出願
アルミニウム基導電材料並びにそれを用いた電線及びケーブル(ドイツ)	第 2754725 号	H30.12.12	共同出願
ヤナギタデスプラウト抽出物及びその製造方法、酵素活性阻害剤及び抗老化剤、並びに化粧品組成物及び機能性食品	特許第 6452064 号	H30.12.21	共同出願
高血圧症の予防治療剤、及びこれを配合した機能性食品、並びにヤナギタデの芽の乾燥物	特許第 6464389 号	H31.01.08	共同出願
大豆発酵食品、及び大豆発酵食品の製造方法	特許第 6461229 号	H31.01.11	共同出願
穿孔工具	特許第 6475992 号	H31.02.08	共同出願

## 1-7-2 平成30年度に公開された特許（2件）

発明の名称	特許番号	公開日	備考
レール装着物品の装着検査装置	特開 2018-163049	H30.10.18	共同出願
肥料材料として利用可能な防火性付与木材及びその製造方法	特開 2018-168325	H30.11.01	共同出願

## 1-7-3 平成30年度までの特許総数等

(平成31年3月31日現在)

項目	件数	内訳
保有特許等	129 件	国内特許 71 件、意匠 10 件、実用新案 1 件、国際特許 47 件
出願特許	18 件	国内特許 13 件、国際特許 5 件
実施許諾契約	58 件	-

## 1-8 視察・見学等 (21件)

## 化学繊維研究所 (7件)

企業・団体名等	月日	人数(名)
(株)久留米リサーチ・パーク	H30.06.05	1
福岡県高等技術専門校	H30.08.06	4
信愛女学院高校	H30.08.22	1
(国立研究開発法人)産業技術総合研究所	H30.08.22	2
JICA/(株)日本開発サービス	H31.01.11	2
(株)インダストリアル サポーターズ	H31.01.11	1
メキシコ国自動車産業クラスター振興プロジェクト視察団(4州政府、クラスター協会)	H31.02.21	16

## 生物食品研究所 (3件)

企業・団体名等	月日	人数(名)
(株)久留米リサーチ・パーク	H30.09.03	3
福岡農業高校	H30.10.11	40
工業技術センタークラブ機械電子技術部会	H30.12.11	18

## インテリア研究所 (3件)

企業・団体名等	月日	人数(名)
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 九州センター	H30.06.02	2
(一財)建材試験センター	H30.07.26	2
福岡県立福岡高等技術専門校	H30.08.10	3

## 機械電子研究所 (8件)

企業・団体名等	月日	人数(名)
国立研究開発法人 産業技術総合研究所	H30.05.15	6
表面技術協会九州支部・腐食防食学会九州支部会員	H30.06.25	30
トヨタ自動車九州(株) 性能開発部 信頼性開発室 技術開発・安全グループ	H30.08.06	3
公益社団法人 九州機械工業振興会	H30.08.17	3
東釜山大学	H30.09.19	30
(株)松井製作所、FAIS、北九州市	H30.12.13	8
福岡県立福岡高等技術専門校	H31.03.08	3
日本弁理士会九州支部	H31.03.13	2

## 1-9 研究課題評価委員会

### ○開催概要

平成29年度研究実施結果に係る中間・事後評価

日時：平成30年5月28日(月) 10:10～16:00

場所：工業技術センター 3階研修室

対象：平成29年度実施研究課題 事後評価 4課題 中間評価 3課題

### ○委員

氏名(敬称略)	所属
○ 仲 孝幸	(公財)飯塚研究開発機構 テクニカルコーディネータ
○ 野村 眞一	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 産学コーディネータ
○ 平井 寿敏	(国研)産業技術総合研究所九州センター 所長
○ 藤田 和博	(株)久留米リサーチ・パーク バイオ産業振興プロデューサー
○ 藤本 潔	(公財)北九州産業学術推進機構 産学連携担当部長
○ 森 直樹	九州工業大学 工学研究院 教授
○ 山内 恒	九州大学 学術研究・産学官連携本部 研究推進主幹

(五十音順) [○]:当日出席委員

### ○開催概要

平成31年度研究計画に係る事前評価

日時：平成30年8月27日(月) 10:30～16:00

場所：工業技術センター 3階研修室

対象：平成30年度実施研究課題 事前評価 6課題

### ○委員

氏名(敬称略)	所属
○ 仲 孝幸	(公財)飯塚研究開発機構 テクニカルコーディネータ
○ 野村 眞一	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 産学コーディネータ
○ 平井 寿敏	(国研)産業技術総合研究所九州センター 所長
○ 藤田 和博	(株)久留米リサーチ・パーク バイオ産業振興プロデューサー
○ 藤本 潔	(公財)北九州産業学術推進機構 産学連携担当部長
○ 森 直樹	九州工業大学 工学研究院 教授
○ 山内 恒	九州大学 学術研究・産学官連携本部 研究推進主幹

(五十音順) [○]:当日出席委員

## 1-10 受賞・表彰・学位取得 (5件)

内 容	対 象 者	月 日	備 考
福岡県工業技術センター 所長 職員表彰	繊維技術課 堂ノ脇 靖巳	H30.08.01	受賞テーマ:福岡県内未利用海産資源を活用した鶏舎環境改善資材の開発
	生物資源課 古賀 慎太郎	H30.08.01	受賞テーマ:プラセンタエキスの高機能化と新規化粧品・健康食品の開発
	電子技術課 吉村 賢二	H30.08.01	受賞テーマ:新機能を有する産業用製氷機の開発
福岡県知事職員表彰 研究表彰	化学課 山下 洋子	H31.02.05	受賞テーマ:廃棄物を活用したフォーミング抑制材の開発に関する研究
福岡県商工部長表彰	材料技術課 中村 裕章	H31.02.28	表彰テーマ:めっき人材能力向上への取り組み
	材料技術課 土山 明美		
	材料技術課 古賀 義人		
	材料技術課 古賀 弘毅		
	材料技術課 吉田 智博		
	材料技術課 猪口 真規		



## 1-11 職員派遣研修 (30 件)

大学等に職員を派遣し、指導等を受けることにより、先端技術分野におけるポテンシャルの確立と研究開発の促進を図るもの。また、職員の技術指導能力等を向上させる目的で実施。

## 企画管理部 (2 件)

研修名	研修先	期間	派遣職員
知的財産研修(初級)	工業所有権情報・研修館	H30.06.12-15	親川 夢子
「エネルギー関連科学技術と表面技術」に関するセミナー	(一社)表面技術協会	H31.03.18-19	中野 賢三

## 化学繊維研究所 (6 件)

研修名	研修先	期間	派遣職員
コーティング実践ノウハウ入門	(株)情報機構	H30.07.10	山下 洋子
「高機能・高性能繊維の基礎と用途展開」講座	(一社)日本繊維技術士センター	H30.09.01, H30.09.08	田村 貞明
JSW インジェクション・スクリーング (成形初級コース)	(株)日本製鋼所	H30.11.12-16	中西 太郎
ゴムおよびゴム薬の衛生問題とポジティブリスト	(一社)日本ゴム協会	H31.02.26	中西 太郎
すぐに活用できるゴム配合技術の基礎と応用	(一社)日本ゴム協会	H31.03.07	中西 太郎
3D プリンターセミナー	クリエートベースナカヤマ	H31.03.30-31	木村 太郎

## 生物食品研究所 (9 件)

研修名	研修先	期間	派遣職員
LC/MS セミナー 2018	アジレントテクノロジー(株)	H30.05.22	黒田 理恵子
HPLC 及び分光分析を中心とする機器分析法	(株)TH 企画セミナーセンター	H30.05.23	黒田 理恵子
次世代シーケンサー解析講習会	豊橋技術科学大学	H30.09.04-07	奥村 史朗
食感改質の考え方と具体例	(株)テックデザイン	H30.11.13	坂田 文彦
食品の官能評価の基本と具体的な手法・ 進め方	(株)テックデザイン	H30.12.06	上田 京子
食品の劣化・変敗の基礎とロングライフ化の為 の食品保蔵技術	(株)テックデザイン	H31.01.22	川口 友彰
食品の冷凍・解凍のメカニズムと品質評価技術	(株)テックデザイン	H31.03.19	川口 友彰
セミナー「食品機能研究の新時代～ex vivo, in vitro 培養系にて生体機能を再現する」等	(公社)日本農芸化学会(東京農業 大学 世田谷キャンパス)	H31.03.26-27	奥村 史朗
シンポジウム「腸内フローラ研究が拓く新たな健 康科学と産業」等	(公社)日本農芸化学会(東京農業 大学 世田谷キャンパス)	H31.03.26-27	山下 聡子

## インテリア研究所 (3 件)

研修名	研修先	期間	派遣職員
デザイン政策研修	経済産業省	H30.06.14-15	隈本 あゆみ
木材接着講習会	(公社)日本木材加工技術協会	H30.07.23-24	竹内 和敏
中小企業活性化担当者研修	(公財)全国中小企業振興機関 協会	H31.02.18-19	西村 博之

## 機械電子研究所（10件）

研修名	研修先	期間	派遣職員
振動モード解析実用入門	(一社)日本機械学会 機械力学・計測制御部門	H30.05.28-30	倉本 紘彰
めっきプロセスの基礎と評価実習	東京理科大学 野田キャンパス	H30.07.26-27	吉田 智博
OIM School Entry コース	TSL ソリューションズ(株)	H30.08.28-30	南 守
EMI 測定研修(第1回)	九州地方知事会 EMC 研究会 (熊本県産業技術センター)	H30.09.12-13	川畑 将人
粒子分散技術入門セミナー	(株)情報機構	H30.09.20-21	古賀 弘毅
電気化学におけるインピーダンス測定と解析法(技術セミナー)	(株)東陽テクニカ	H30.11.06	土山 明美
EMI 測定研修(第2回)	九州地方知事会 EMC 研究会 (鹿児島県工業技術センター)	H30.12.20-21	川畑 将人 田中 雅敏
EMI 測定研修(第3回)	九州地方知事会 EMC 研究会 (大分県産業科学技術センター)	H31.02.28- 03.01	川畑 将人 田中 雅敏
モノづくりにおける問題解決のためのデータサイエンス入門コース	(一財)日本科学技術連盟	H31.01.30-31	倉本 紘彰
SURTECH2019 及び nano tech2019 (技術セミナー)	(一社)表面技術協会技術 他	H31.01.30-31	土山 明美